

乙第 23 号証
(3枚)

奥村昇次氏に関する備忘録

① 議会報について

令和4年12月²⁸日、議会報に掲載する奥村昇次氏の一般質問の原稿について、伊藤あんな議会報編集委員長（当時）が会派自由クラブ控室に相談のため来られた。伊藤委員長は原稿の内容や期限について困っている様子であったが、私はこれまでの奥村昇次氏の行動や言動を見たり聞いたりする中で、伊藤委員長と奥村昇次氏とのやり取りだけでは調整が難しいことは容易に想像が出来た。私、金沢は、当時の議会報編集委員会の委員の一人であり、上記の場にも同席していた。伊藤委員長が相談に来られ、まもなく友松団長（当時）が来られた。ここで友松団長は伊藤委員長が困っている内容を知った。そして、友松団長はその場で、同席していた加納政調会長（当時）にも、奥村昇次氏の件について何とか対処するよう指示していたと記憶している。その後、友松団長は奥村昇次氏に対し、伊藤委員長と議会事務局に謝るよう電話で伝えていたが、奥村昇次氏の返答が反抗的であったためか、あまり会話が成立していなかったと記憶している。当時委員会のメンバーであった私の個人的な意見としては、そもそもの所、本会議で発言もしていない、また

市も回答していない内容について、文面を自分の都合の良い物に作り上げ、
ただ自分のアピールのために議会報に掲載しようとしたところに、事の問題の本質があり、奥村昇次氏の落ち度は明らかであると感じている。

② 全員会について

令和5年1月4日、会派自由クラブの全員会が開かれた。別室での三役会の後、役員からこれまでの奥村昇次氏についての経緯等の説明の後、役員から、「除名」という手続きで会派メンバーをわずらわせることなく、自ら会派を退いてもらうのが良いのではという趣旨の話があり、皆さんの意見はどうかとの問いがあった。その問いに対し、奥村昇次氏を擁護する議員は一人もおらず、当時の一期の議員も含め大方の議員から、奥村昇次氏については会派を除名で良いとの発言が相次いだ。最終的に全員に再度、奥村昇次氏の進退について問うた所、熊野議員（当時4期）や梶田高由議員（当時3期）他から、異議なしとのことで、奥村昇次氏の除名が決定された。除名に関する手続きには全く問題はなく、奥村昇次氏の言う、恣意的、意図的といった意見は見当はずれであり、むしろ会派の意思決定に関する手続きを軽んじており断じて許してはいけないものである。

③ 市長の奥村昇次氏とのやりとりについて

令和5年1月4日、春日井市新年名刺交換会が春日井市民会館にて開催された。開会前、伊藤太前市長が市議会議員の多く集まっているところに挨拶に来られた。その際、伊藤太前市長は奥村昇次氏に対し、「あんなもんはいかん。もっと勉強しろ。」と、私の目の前で叱責していたが、奥村昇次氏は何で叱責されているのかよく理解していない様子で何か反論するわけでもなく呆然と立っているだけであった。前市長は自分が市長時代に取り組んでいた事業等について文句を言われていると思われたのか、奥村昇次氏のチラシや言動等の目に余る行動の数々に相当お怒りなのだろうと感じた。

令和5年5月1日

春日井市議会議員 金澤陽貴

